

迎古夢旅 4591 : イベリア半島・ブルーの世界① P130



昨日の京都も半端なしの暑さ。予定があって、午前10時にアトリエをスタート。

出会いと画像記録を楽しみ、午後7時に、アトリエ帰宅。

ゴーヤや、オクラ、他、不揃いの野菜をゲット。動いた後は、お腹が減る。

今、DIY生活、三密を避けて、**太陽の下で、動くことも大切**。そして、週末の迎古夢旅、イベリア半島の画像記録を選択しながら、食後から、書き始めた。

こんなことを割り込みしたのは、農業をされている人から、

夏野菜から、次は、大根の準備。暑い夏だが、これが仕事。慣れているから

注意しているが、**熱中症にはなりにくいし、なりたくない**。

それぞれの環境や状況によるだろうが、体や心の慣れがあるのではないか、との話を聞いた。

第三者からは、気をつけてと言われるが、

自分の身体や身の程と相談しながら、春から外出、**訓練**している。

過信は禁物だが、この日は、スポーツ飲料2本、汗びっしょりの一日。勿論、真っ黒。

イベリア半島、長期のひとり旅。待ったなし、言い訳なし、後悔なし。

旅好きの、知人と会話していて、**旅は3泊4日くらいが、一番楽しい**かもしれないですねと

次はどこに行きたいですかと質問すると、ポルトガルも行きたいですね、という話に。

レストランをしながら、主婦もこなし、海外をいろいろ訪ねておられる。

その都度、料理情報を仕入れ、発信。長いおつきあいで、いつも、昼食のプレートが楽しみ。

レシピも教えてもらうことも度々。ご主人は園芸の専門家で知人。

アトリエ久楽からは距離があるが、月3回程度、運動と勉強になるのでママチャリ訪問。

イベリア半島の話が脱線したが、コロナ問題で大変だが、

コロナが収束したら、また、旅に出たいと、頑張っておられる。前回は、ベトナムへの旅、

同行された友人もお客さんで、先日も、3人で、旅の話で、花が咲き、

お互い、頑張って、夢を実現したいですね、ということになって、右と左に。

その節、迎古夢旅の発信内容についての

若い人のアドバイスや意見なども聞かせてもらって、いろいろ課題ができて、勉強になった。

これは、私には、頭の体操。どんどん、退化していく領域にあるのかも。

しかし、認めたくない。楽しい話を選択したほうがいい。

今、コロナ問題、迎古夢旅 8 月 22 日土曜日の発信原稿作成中。
特別なことはできないが時系列でなくてもいいではないか。写真で廻る世界の旅・日本の旅。

気分転換で、美しいものを見ることは大切。 ストレスが溜まる時代背景。

自律神経には、脱日常の光景は、いいのではないか。
最初、イベリア半島発信中の、迎古夢旅の、数々の 1 ページ目をコピーして、あげると、
ポルトガルも、行ってみたい、選択肢に中に入ったとのこと。
気分転換の人もあるだろう。楽しいことを思い浮かべる。体の足し、心の足しになる。

1 ページ目の画像と、下記の画像は、同じであって同じでない。
見るだけでは、面白くない。五感で体感したい。フットワークのいい、久楽が登場。

水際まで寄って、まず、手で触れる。

こうなれば、靴も脱いで、水に入るのが一番。よく見ると、
透明度も素晴らしい。足の感触も。調子に乗りすぎないように、慎重に。

もう一歩、前に、前進。



